

G3きさらぎ賞

<最終見解>

京都で行われるきさらぎ賞は欧州型の逃げ先行馬が穴を出すレース。
20年のコルテジアは3番手。19年のランスオブプラーナは逃げ。
どちらもテンパターン15。いずれも父は欧州型血統。

本命はレガーロデルシエロ。

父は欧州型のロードカナロア。テンパターン15の先行経験馬。
母父は当レース勝ち馬も複数出していて非根幹距離得意なマンハッタンカフェ。

G3東京新聞杯

<最終見解>

牝馬優勢のレース。

血統は中距離の主流血統が走りやすい。

本命はドウラメンテ産駒のアヴェラーレ。

中距離の主流血統が強いレースではディープ産駒と匹敵する種牡馬。

前走は抜群の手ごたえも直線で

極端なトラックバイアスによってスピードを削がれました。

今回へ向けて余力も残しています。

キングマンボ系を父に持つ牝馬の上位独占も十分にありえます。